

令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会(東京) アピール

公益社団法人 日本建築士会連合会 女性委員会

全国女性建築士連絡協議会は、今年で第31回となりました。女性委員会を立ち上げられました初代の女性委員長はじめ歴代女性委員長、連合会会長および女性委員会担当副会長、各都道府県建築士会会長や女性委員会(部会)、そして事務局など多くの方々のご協力とご理解の下に継続出来たことと深く御礼申し上げます。

昨年は、初めてオンライン配信を取り入れました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、残念ながら開催地の福岡市に県外からの参加はできませんでしたが、オンラインにより多くの方にご参加いただきましたことに感謝いたします。

同協議会では、平成23年の東日本大震災以降、全国各地で発生しました災害の状況や復興支援活動について毎回ご報告いただいております。今年は、岩手県建築士会から「東日本大震災の体験談～陸前高田市～から考える防災について」ご報告をいただきました。これからも災害報告を継続して情報を共有し、建築士としてどのような活動が必要か、共に模索してまいりたいと考えます。

さて今回、メインテーマの「未来へつなぐ居住環境づくり」を継続し、～これからの快適で健康な住まい～をサブテーマにいたしました。私たち女性建築士は、ウィズコロナ時代の住まいとは何かを学び、これからの居住環境づくりに活かしていきたいと考えます。

一日目の全体会では、早稲田大学教授 田辺 新一氏をお迎えし、ウィズコロナ時代の住まいと換気のあり方、住まいの省エネと快適、脱炭素時代の住まい、住環境と睡眠 よく眠れる家、これからの健康な住まい、についてご講演頂いた後、質疑にお答えいただきました。また、愛知建築士会、奈良県建築士会、大阪府建築士会より活動報告をしていただきました。

二日目の分科会では、「オンラインセミナー役立つ運営ノウハウ伝授します!」「空き家対策の活動」/民泊×観光地の取り組み」「福祉まちづくり」/建築士の介護知識」「たてものを使い繋ぐために」「景観まちづくりと建築士・京都景観フォーラムでの活動」「愛媛の古建築を訪ねての本ができるまで」「古きものを活かす」の7つのテーマのもとに報告をいたしました。

それらの成果として、以下の点を今年のアピールとして発表し、発信してまいります。

1. 私たちは、今回の協議会を通し、建築士として、また、生活者としての視点から、住まいづくり、まちづくりを考え、未来に続く安全な居住環境づくりを目指します。
2. 私たちは、今回の基調講演を通して、建築士として、快適で健康な住まいとは何かを改めて見直し、ウィズコロナ時代の住まいづくりに取り組んでまいります。
3. 私たちは、継続してきた災害報告等を通し、女性建築士として、災害地域に寄り添う心を忘れずに、復興支援のあり方や、災害時における支援活動の方法を考えていきます。
4. 私たち女性建築士は、様々な専門分野の方々と連携しながら、建築士としての能力を活かし、暮らしやすい社会の実現のために日々研鑽してまいります。